

## 台風第13号に関する知事メッセージ

台風第13号については、8月5日（水）夜のはじめ頃から6日（木）未明にかけて奄美地方（奄美群島、トカラ列島）が強風域に入り、その後、7日（金）午前中に最接近する見込みです。

奄美地方においては、最大瞬間風速45メートルが予想され、飛来物によって負傷したり、走行中のトラックが横転したりするおそれもある猛烈な風が吹く見込みとなっています。

この台風の影響により、奄美地方では、台風の進路や雨雲の発達程度によっては、7日（金）頃から警報級の大雨となる可能性があります。5月20日の地震で揺れの大きかった与論町などでは地盤が緩んでいるところがあり、雨による土砂災害の危険性が通常より高まっています。

5月29日から、気象庁が発表する防災気象情報が大きく変わりました。レベルの数値を見て、とるべき避難行動をお願いいたします。

県民の皆様におかれましては、テレビ、ラジオ、インターネット等により最新の防災気象情報や市町村が発令する避難情報等を常に確認していただき、早めの避難や不要不急の外出を控えてください。また、猛烈な風が吹く見込みであることから、屋内では窓から離れて過ごすなど、厳重に警戒していただくようお願いします。

県としましても、引き続き、市町村や関係機関と緊密に連携をとりながら、県民の皆様の安全確保に全力で取り組んでまいります。

令和8年8月 鹿児島県知事 塩田 康一